Housetec
Living with ideas

コンパクトキッチン DS(ベースキャビネット)
取付・設置説明書

もくじ

1．安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2．取付・設置上のお願い	
取付・設置上のお願い	4
3．取付・設置の事前確認	
（1）設置部位の建築側の仕様確認	4
（2）設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認	4
（3）建築側の間口・取合い寸法の確認	4
（4）給湯水管・排水管・ガス配管・電気配線接続位置及び排気口・喚起口の位置確認	4
（5）製品の荷受け確認	4
4．工具及び付属部品の確認	5
5．取付・設置手順	
（1）背板の切り欠き	5
（2）キャビネットの据付	6
（3）扉の調整方法	8
（4）引出し前板の調整方法	9
（5）コンロ脇小引出し前板の調整方法	9
（6）排水ストレーナーの取付	9
（7）排水管の接続	10
6．組込機器の取付手順	11
7．仕上げ	
清掃	11
仕上げ（コーキング）	12
8．点検	
安全点検	12
組込機器の試運転	12
9．完了後の処置	
（1）商品の養生について	12
（2）取扱説明書の保管・引渡し方法	12
10．残材処理	
（1）梱包材その他残材の処置	12

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はコンパクトキッチン（ベースキャビネット）のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1．安全上のご注意

●取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

● お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

⃠	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
❗	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付・設置上の注意

⚠ 警　告

●製品は水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。

●製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。

●電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。

火災・感電・ガス漏れ・水漏れのおそれがあります。

●ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は必ず保護手袋をする。

ステンレスで手をけがするおそれがあります。

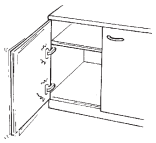
●キッチンに組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付･設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

思わぬ事故や故障の原因となることがあります。

⚠ 注　意

●取付・設置完了後は扉の傾き、がたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。扉が傾いたり、がたついたりしている時は、丁番のネジをしめなおす。

使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。



●キャビネットに乗らない。

製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 注　意

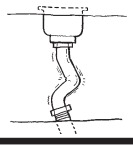
●棚板を設置するときは棚受を隙間のないうように根元まで確実に差込む。
棚板がはずれ、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

●排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行う。
水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。臭気が発生したり浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。

●通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無いか確認する。
●引渡しまで日にちがある場合は排水口にフタをする。
シンク内に水垢付着や浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。

●取付設置に使われる溶剤、その他薬品類はそれぞれの注意表示に従って正しく使う。
誤った使い方をすると人体に影響が出たり使用部材の損傷や劣化の原因になります。

●排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。
排水能力が低下して、シンクから水があふれて、床を汚すおそれがあります。



●絶対に分解したり、修理・改造したりしない。

●コンロと接する壁面は、必ず不燃仕上げとする。
火災のおそれがあります。

●壁がコンロと接する場合でやむを得ず壁面が可燃物の場合はキッチン本体を壁面から12mm以上離して設置し、別売の防熱板を取り付ける。
火災のおそれがあります。

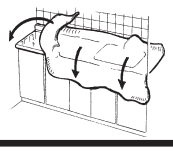
●別売のキッチンパネルで仕上げた場合でも、コンロと接する場合は、別売の防熱板を必ず取り付ける。
キッチンパネルに炎が直接当って、変色するおそれがあります。

2. 取付・設置上のお願い

お　願　い

●運搬中ぶつけないように注意してください。また運搬は２人以上で行ってください。
製品および周辺設備が破損したり、傷がつき、使用できなくなるおそれがあります。

●設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。
くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。



●清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。
その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。

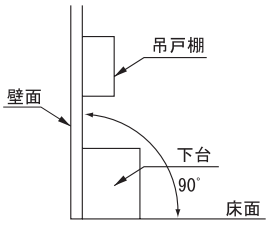
3．取付・設置の事前確認

1．設置部位の建築側の仕様確認

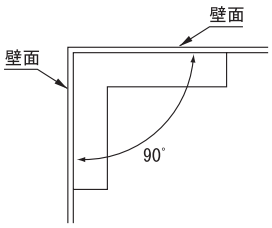
- 製品搬入前に床面を仕上げてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。
- 壁面がガス台と隣接する場合は、壁面は不燃仕上げとなっていることを確認してください。

2．設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- キッチン本体を設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉や引出しに段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。



壁面の垂直度



壁面コーナーの直角度

3．建築側の間口・取合い寸法の確認

- 製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。

4．給湯水管・排水管、ガス配管、電気配線接続位置及び排気口、換気口位置の確認

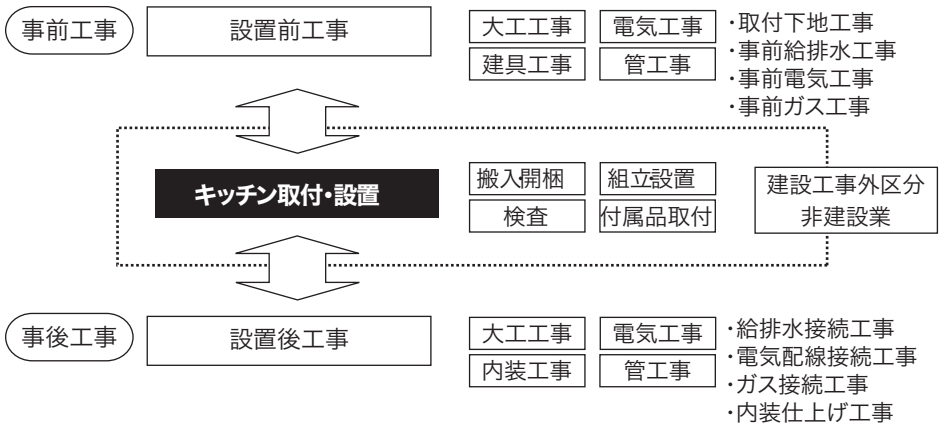
給湯管・給水管、ガス配管、電気配線接続位置及び排気口、換気口位置は別途取付・設置図を参照して、建て屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。
建築側排水管は床面より 60 ～ 80mm の間の寸法で立ち上げてください。

工事区分

⚠ 警　告

◎本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事（給排水）、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



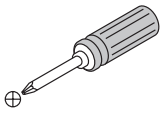
5．製品の荷受け確認

注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷はないかなどの製品の荷受け確認をしてください。

4．工具及び付属部品の確認

＜取付・設置に必要な工具＞

● プラスドライバー



● 充電ドライバー（電気）

＜付属部品＞

● ワークトップ及びベースキャビネットに下記の部品が付属されています。不足品のないことをご確認ください。

ワークトップ

付属部品名	仕様	員数			
		ステンレスワークトップ W:1950 ～ 2100mm	人造大理石ワークトップ用 W:1200mm	人造大理石ワークトップ用 W:1500 ～ 1800mm	人造大理石ワークトップ用 W:1950 ～ 2100mm
ストレーナー	W:1200mm 用	–	1 個	–	–
	W:1500 ～ 2100mm 用	1 個	–	1 個	1 個
三角パッキン	–	1 個	1 個	1 個	1 個
ポリパッキン	–	1 個	1 個	1 個	1 個
手締めナット	–	1 個	1 個	1 個	1 個
スペーサー（レベル調整用）	ラワン合板 :t2.5x30x50	5 枚	5 枚	5 枚	5 枚
キャビネット連結ネジ	コーススレット：φ3.8x28	4 本	–	–	4 本
連結ワッシャー	–	8 個	4 個	4 個	8 個
化粧キャップ	φ16.5、白	8 個	4 個	4 個	8 個
ワークトップ固定ネジ	トラスタッピングネジ：φ3.5x13	10 本	10 本	10 本	10 本
L 金具	–	1 個	1 個	1 個	1 個
L 金具取付ネジ	トラスタッピングネジ：φ3.5x16	2 本	2 本	2 本	2 本
キャビネット固定ネジ	コーススレッド：φ3.8x38	5 本	5 本	5 本	5 本
皿ネジ	サラタッピングネジ：φ3.5x13	2 本	–	–	–

ベースキャビネット

付属部品名	仕様	員数			
		ステンレスワークトップ一体キャビネット	人造大理石ワークトップ用キャビネット	ステンレスワークトップ用シンクキャビネット	人造大理石ワークトップ用シンクキャビネット
スペーサー（レベル調整用）	ラワン合板：t2.5x30x50	5 枚	–	–	–
連結ワッシャー	–	4 個	–	–	–
化粧キャップ	φ16.5、白	4 個	–	–	–
L 金具	–	1 個	–	–	–
L 金具取付ネジ	トラスタッピングネジ：φ3.5x16	2 本	–	–	–
キャビネット固定ネジ	コーススレッド：φ3.8x38	5 本	–	–	–
シーリングプレート	φ200-φ50	1 枚	1 枚	1 枚	1 枚
バックガードカバー	SUS430HL	–	1 本	–	1 本

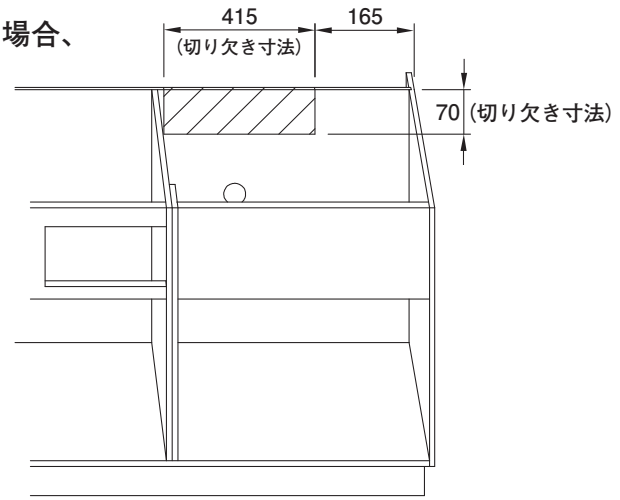
※ステンレスワークトップ一体キャビネットには、ストレーナー・三角パッキン・ポリパッキン・手締めナットが取り付けられています。

5．取付・設置手順

（1）背板の切り欠き

2口IHクッキングヒーター（HT-40A、SIH-B224C-W）の場合、
コンロ収納部背板を切り欠いてからキャビネットの
連結・設置をしてください。
切り欠く場所･寸法は右図を参照ください。

(注)切り欠きの際、キャビネットの
化粧面に傷を付けない様ご注意ください。
また、切り欠き後、切断面は紙やすり等で
なめらかに仕上げてください。



5．取付・設置手順（続き）

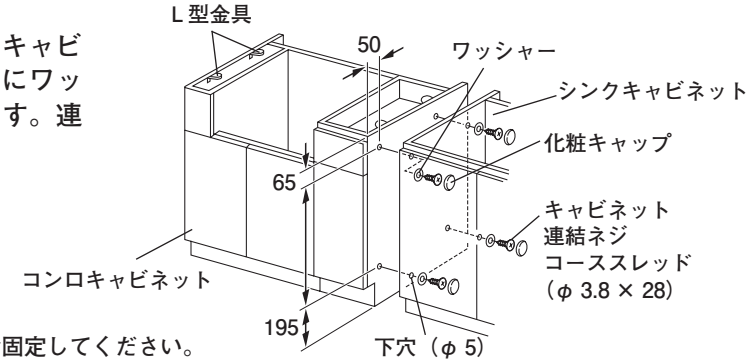
（2）キャビネットの据付

ワークトップ・ベースキャビネットは仕様・間口により、以下の形態で納品されます。

仕様		間口	納入形態
ステンレスワークトップ	-	W1950 ～ W2100	ワークトップ、コンロキャビネット、シンクキャビネットの３梱包
	-	W1200 ～ W1800	ワークトップ一体キャビネットの１梱包
	コンロ無しタイプ	W1500 ～ W1800	ワークトップ一体キャビネットの１梱包
人造大理石ワークトップ	-	W1950 ～ W2100	ワークトップ、コンロキャビネット、シンクキャビネットの３梱包
	-	W1200 ～ W1800	ワークトップ、ベースキャビネットの２梱包

（2）－１　W1950 ～ W2100 用キャビネットの場合（ステンレスワークトップ、人造大理石ワークトップ）

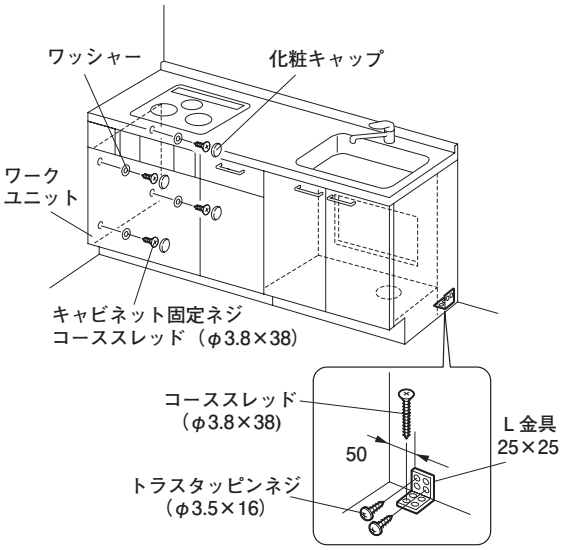
① シンクキャビネット側板に下穴を４ケ所あけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッドφ 3.8 × 28）にワッシャーを通してコンロキャビネットと連結します。連結後ワッシャーに化粧キャップを取付けます。
連結する場所は右図を参照ください。



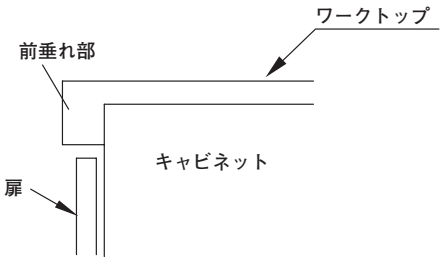
（注）連結ネジ高さ位置は、周辺部品に干渉しない位置で固定してください。

② ワークユニットを所定の位置に設置する前にシンクキャビネット側板にL 金具 25 × 25を取り付けてください。
③ 点検口よりシンクキャビネットを床面に固定してください。
④ コンロキャビネットの側板に下穴を開け、コーススレッド 3.8 × 38にて壁面に固定してください。
固定位置は壁の芯材位置を確認し、位置決めしてください。

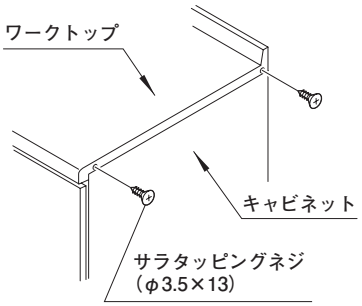
（注）キャビネット側面と建築側との間にすき間がある場合は、スペーサーをはさみ、すき間を無くしてから固定してください。すき間があるとキャビネット側面が外れる場合があります。



ワークトップの取付け
⑤ シンク側のワークトップの前垂れ部がキャビネットにのらないように注意して上からかぶせるように設置します。



⑥ 間口：W1950 ～ W2100のステンレスワークトップで片側オープンの場合は、別売のサイドパネルを取り付けるか、ワークトップ側面のビス穴に付属の皿ネジを締め付けて下さい。（２箇所）



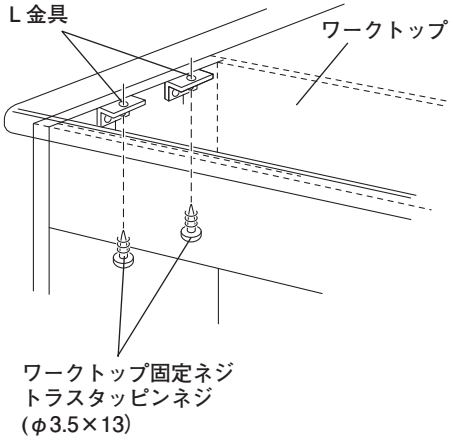
5．取付・設置手順（続き）

⚠ 警　告

● ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は、必ず保護手袋をする。

切断面にさわると、けがをするおそれがあります。

⑦ ワークトップをキャビネット側板に取付けてあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かって付属のワークトップ固定ネジで固定してください。



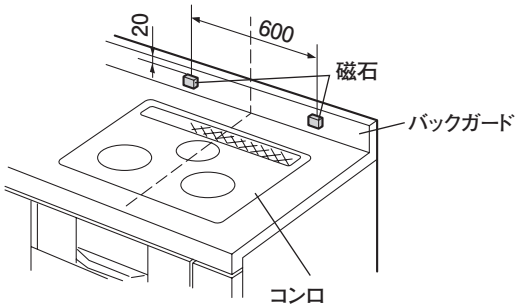
⚠ 注　意

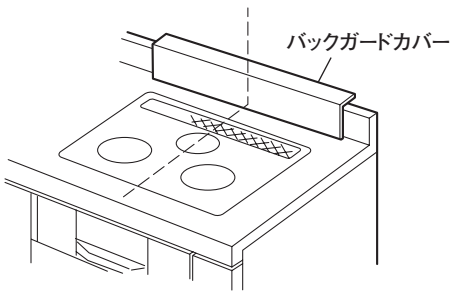
● 固定ネジは必ず指定のネジを使用する。

ネジが貫通して、ワークトップにキズ・割れが出ます。

バックガードカバーの取付け　＊人造大理石ワークトップのみ
人造大理石ワークトップの場合はワークトップのバックガードに、キャビネットに同梱しているバックガードカバーを取り付けてください。

⑧ 右図の位置に付属の磁石を剥離紙をはがして接着してください。（磁石を接着する前に、バックガードの汚れをよく拭き取ってください）
⑨ バックガードカバーの中心をコンロの中心に合わせて取り付けてください。

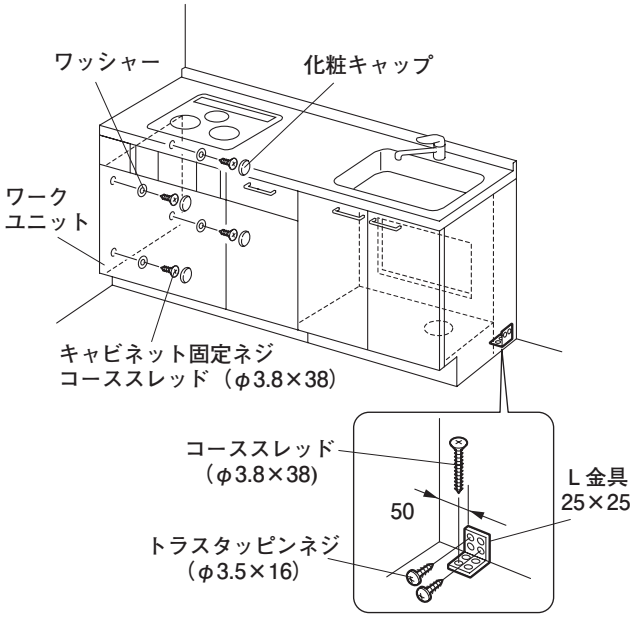




(2)－2　W1200 ～ W1800 ステンレスワークトップ一体キャビネットの場合

① ワークユニットを所定の位置に設置する前にシンクキャビネット側板にL金具25 × 25を取り付けてください。
② 点検口よりシンクキャビネットを床面に固定してください。
③ コンロキャビネットの側板に下穴を開け、コーススレッド 3.8 × 38にて壁面に固定してください。
固定位置は壁の芯材位置を確認し、位置決めしてください。

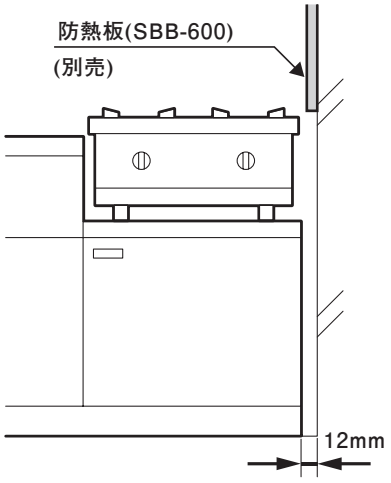
(注) キャビネット側面と建築側との間にすき間がある場合は、スペーサーをはさみ、すき間を無くしてから固定してください。すき間があるとキャビネット側面が外れる場合があります。



5．取付・設置手順（続き）

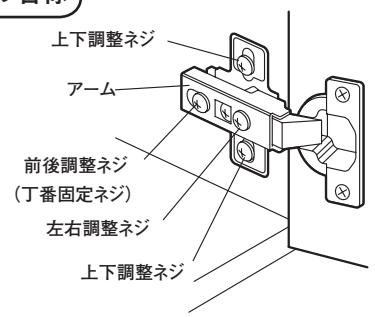
（2）－3　W1500 ～ W1800 ステンレスワークトップ一体キャビネット（コンロ無しタイプ）の場合

① 不燃仕上げとなっている壁面に、キッチン本体のコンロ側が接するように設置してください。
② やむを得ず壁面が不燃仕様で無い場合は、別売の防熱板に付属のスペーサー（12mm）をガイドにしてキッチン本体を壁面から 12mm 離して設置し、別売の防熱板を取り付けてください。
③ 別売のキッチンパネルで仕上げた場合は、コンロの熱で化粧面が変色する場合があります。
別売の防熱板を取り付けてください。
（注）キッチン本体設置後は、スペーサーを取り除いてください。



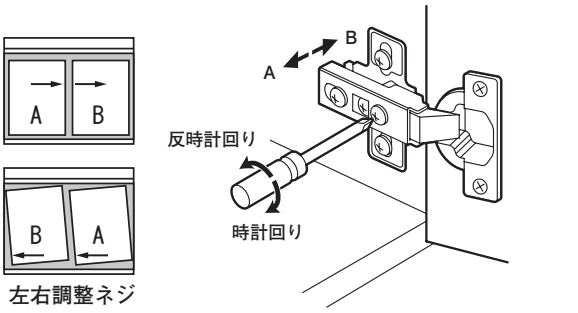
（3）扉の調整方法

各部の名称

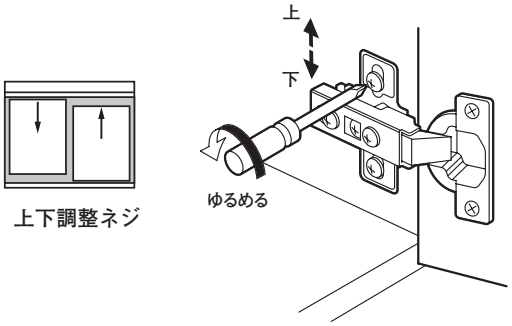


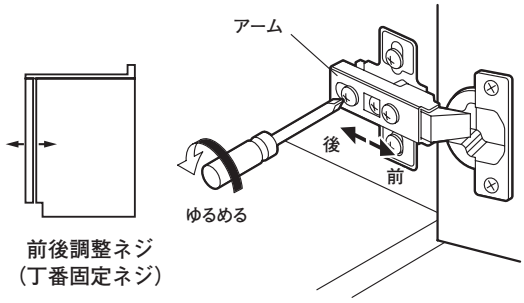
① 左右傾きの調整をする場合
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

② 上下の調整をする場合
２ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。



③ 前後の調整をする場合
前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。





⚠ 注　意

●取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。

5．取付・設置手順（続き）

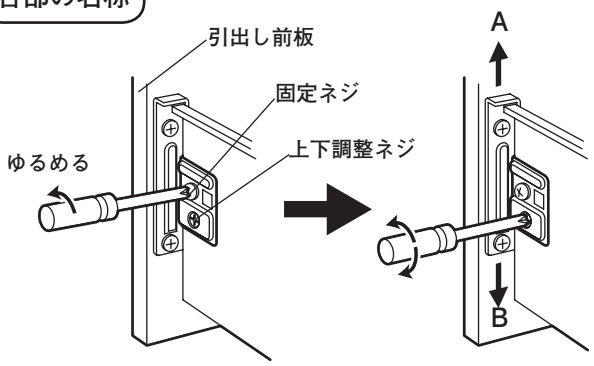
（4）引出し前板の調整方法

上下の調整をする場合

① 固定ネジをゆるめます。
② 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がＢ方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がＡ方向に動きます。
③ 調整後は固定ネジをしっかり締め付けてください。

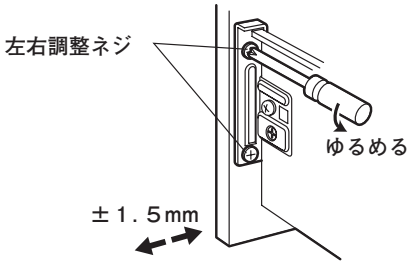
※ 上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。

各部の名称



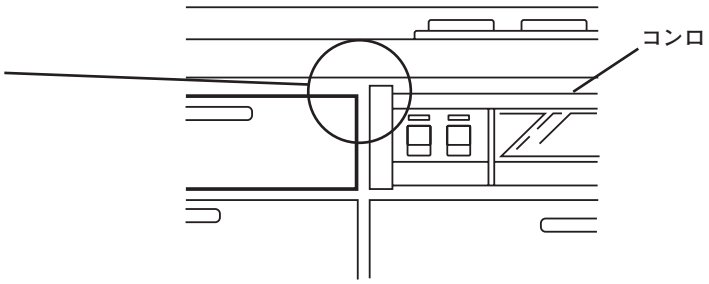
左右の調整をする場合

① 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板左右に調整してください。
② 調整後は、左右調整ネジをしっかり締めてください。



扉調整作業時のお願い

※コンロを設置する際、引出し前板上面とコンロ操作部上面の高さは合いませんが異常ではありません。



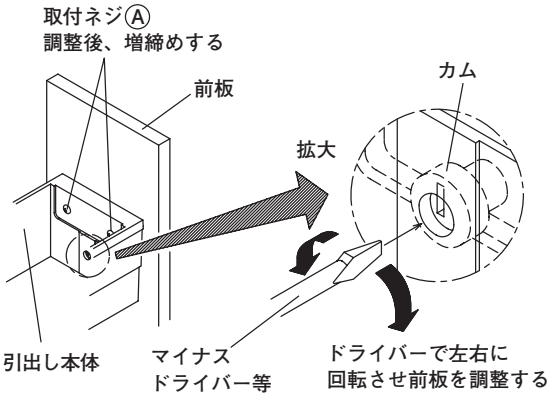
（5）コンロ脇小引出し前板の調整方法

前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ネジⒶ（２ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めます。

必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。

調整が完了したら、ネジを増締めしてください。

各部の名称



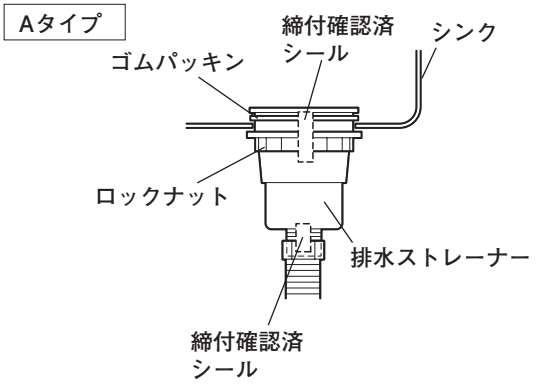
（6）排水ストレーナーの取付け

Aタイプ

シンク排水口穴に排水ストレーナーを取付け、締め付け工具でロックナットを締め付けてください。

取付け完了後、締付確認済シール（排水ストレーナーに付属）を２枚貼りつけてください。（Aタイプ）

（注）①締め付け工具は製品に含まれていません。
別途ご用意ください。
②ゴムパッキンはシンク内に位置するように取付けてください。



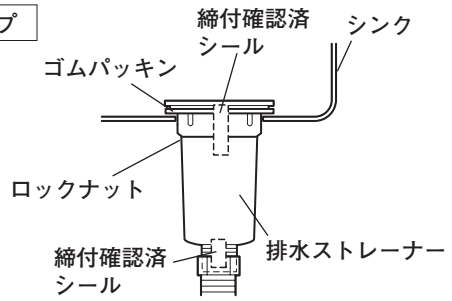
Bタイプ

シンク排水口穴に排水ストレーナーを取付け、締め付け工具で締め付けてください。

取付け完了後、締付確認済シール（排水ストレーナーに付属）を２枚貼りつけてください。(Bタイプ)

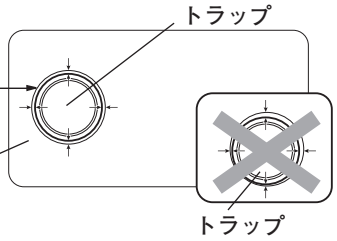
(注) ①締め付け工具は製品に含まれていません。
別途ご用意ください。
②ゴムパッキンはシンク内に位置するように取付けてください。

Bタイプ



別売の工具もご用意しております。
品名：SHIMEGU115
定価 3,000(税抜)

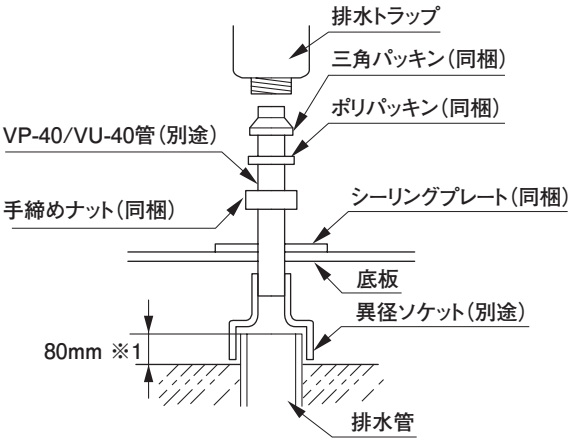
隙間は均一にしてください。
接触していると錆びの原因になります。



(7) 排水管の接続

（７）－１　直管接続の場合

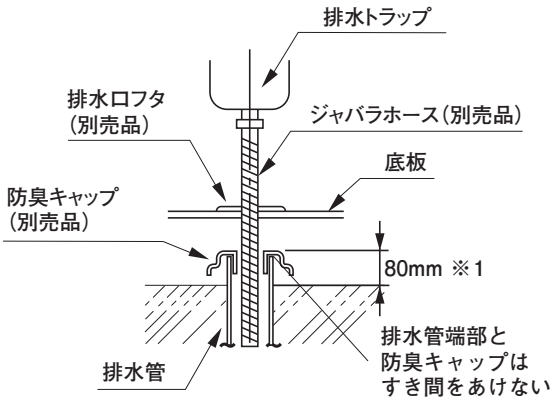
● 排水管は VP-40 または VU-40 管の直管接続とし、排水管との接続部は、必ず充填材で完全にシールしてください。シールが不完全ですと湯気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生する原因になります。また、臭気が発生したり、浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。



（７）－２　ジャバラホース（別売品）接続の場合

① 排水ホースに排水口フタ、防臭キャップを通し、建て屋側に立ち上げられている排水管に挿入してください。ジャバラ排水ホースは適切な長さにカットしてください。
② 排水管に防臭キャップをはめ込みます。
防臭キャップは排水管端部と接するまではめ込んでください。

● 排水トラップと排水ホースの取付けの際は、充分に締め付けてください。締め付けが足りないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。
● 防臭キャップのはめ込みが不完全だと、湯気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生する原因になります。また臭気が発生したり、浄化槽の塩素ガスが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。



※１の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。
最小で必ず 60mmは確保してください。

⚠ 注　意

● 排水管の立ち上げ位置は、別途取付・設置図により、位置決めを行う。

接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。

● 排水管の接続後、水漏れのないことを確認する。

水漏れにより床が腐るおそれがあります。

● 排水ホースは排水管に底付けしない。

排水能力が低下したり、水があふれるおそれがあります。

6．組込機器の取付手順

●各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。

⚠ 警　告

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程にしたがって
必ず「有資格者」が行う。

火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

⚠ 注　意

組み込まれる機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書
及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

7．仕上げ

●清掃

（1）ステンレス部表面に貼り付けてある養生フィルムをはがしてください。
（2）シンク内のゴミや異物を取り除いてください。
（3）ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
（4）汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、
　　水拭きしてください。
　　水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

⚠ 注　意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤・ぬめり取り剤は使ったり、
近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因
になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は
使用上の注意をよく読んでお使いください。

通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無いか確認する。
引渡しまで日にちがある場合は排水口にフタをする。

シンク内の水垢付着や浄化槽の塩素ガス等が上がり、シンク・トップ・丁番など金属が
サビるおそれがあります。

お　願　い

清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

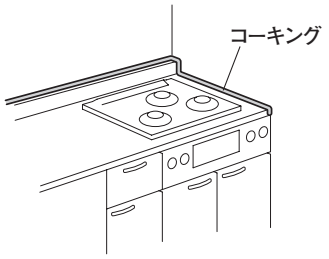
その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。

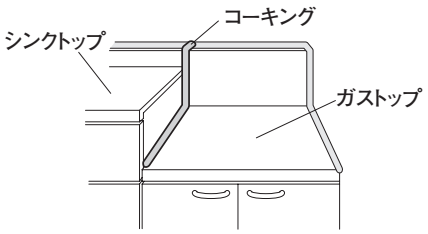
7．仕上げ（続き）

●仕上げ(コーキング)

（1） キッチン本体と壁面のコーキング
キッチン本体と壁面が接する部分は必ずコーキング処理してください。

（2） シンクトップとガストップ接合部のコーキング
(コンロ無しタイプのみ)
シンクトップとガストップの接合部分はクリヤーのコーキング剤で必ずコーキング処理してください。





⚠ 注 意

●コーキング処理はすきまのないよう確実に行う。

コーキング処理が不完全ですと、すきま部分より水や油などが浸入し､キャビネットが腐食するおそれがあります。

8．点検

●安全点検

（1）設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
（2）扉や引出し前板に傾きがないこと、がたつきや緩みのないこと、及び正常に作動することを必ず確認してください。

●組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法、または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

9．完了後の処置

1． 商品の養生について

・製品および組込機器などは、お引渡しまでの間キズ、汚れがつかないように覆いをしておいてください。

2． 取扱説明書の保管・引渡し方法

・製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

10．残材処理

1． 梱包材その他残材の処置

・不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダ電機本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 **www.housetec.co.jp**

L34S0793EG